

囚われの旅人

作詞 山田利衛（軍医）

作曲 高橋良一（学徒出陣の音大生）

1946年3月 アムラルト病院にて

伴奏譜 田中淳子

Piano

The piano introduction is in G major and 4/4 time. It features a melody in the right hand with eighth and sixteenth notes, and a bass line in the left hand with quarter and eighth notes. A sixteenth-note triplet is marked with a '6' and a slur in the third measure.

(2・3 番小音符)

The first system of the song. The vocal melody is in G major, 4/4 time, with lyrics in three lines. The piano accompaniment consists of a simple bass line in the left hand and a melody in the right hand that mirrors the vocal line. A sixteenth-note triplet is marked with a '6' and a slur in the first measure of the vocal line.

1. ぎ ん の こ お や を きょ う も ゆ く
 2. きょ う も く れ た か あ かね ぞ ら
 3. さ く ら か き く か あ おば か と

10

The second system of the song. The vocal melody continues with lyrics in three lines. The piano accompaniment continues with a simple bass line and a melody in the right hand. A sixteenth-note triplet is marked with a '6' and a slur in the first measure of the vocal line.

ら くだ の むれ は お おら か に
 ほ んの り みゆ る ま ちの ひ に
 か えり つ く ひの よ ろこ び を

14

ない ぜ か い そ が め た び す が た
 い き よ う の な み ー だ た
 か た つ た と も ー は さ そ わ れ て
 す で ー に な く

18

か な し か な い ー か い と し ー ー ご が
 し み じ み お も ー う さ と の ー ー い え
 い は つ も こ お ー ろ う や の ー よ ー る

22

26

30

きょう も く れ た か あ かね ぞ ら

34

ほ ん の り み ゆ ー る ま ち の ひ に

38

い き ょ う の な み ー だ さ そ ー わ れ て

42

rit...

し み じ み お も ー う さ と の ー い ー え

■歌詞に込められた思いと伴奏譜制作時に込めた思い

3番からなる歌詞は

絶望の中、故郷の家族に会いたい思い 元気に帰る誓いが込められる

1番：モンゴルの風景と放牧民の子供への思い（モンゴル人に対するやさしさと間接的に故郷に残したの家族のことを思いやる）

2番：夕陽と町の灯を見ての望郷の思い（1日を終わりふと現実に戻される刹那）

3番：季節ごとに日本を思いつつ日々友が先に逝く現実

（不条理へ訴えとの絶望と望郷、更には元気で帰還する決心）

3番のまま終えてしまうと聴かれた方に深い悲しみの情と不条理の思いが強くなりすぎるので、間奏を経て抑留中多くの抑留者が口ずさんだ2番で終わる工夫と、最後を明るい長調の和音で終了させることで

①抑留者が日本へ無事に帰還できる希望

②日本とモンゴルの今後の友好と協力と平和への願い

③戦争のない世界への祈り

以上2点を伴奏譜を制作するにあたり特に考慮しました。

■モンゴル抑留者が、故郷を思い作詞作曲した「囚われの旅人」が復活
ウランバートルの病院で治療にあたっていた軍医の山田利衛氏の作詞、学徒動員の音楽大学生の高橋良一氏作曲（入院中に作曲その後、消息不明）の曲。

モンゴルに抑留にされた後、凍傷で両足を膝から切断した友弘正雄氏（現在100歳）らが抑留当時歌っていた曲で、帰国後もモンゴル会（モンゴル抑留帰還者のご遺族の会）などで歌い続け、現在も覚えていて皆で歌い継いだ歌です。

「モンゴルに抑留者がいた事実」を知って驚いたモンゴル人で中京テレビディレクターのゾーラさんがドキュメンタリー番組を制作しましたが、その番組の中で友弘さんが披露した歌でもあります。

「番組の中の動画から、田中さん！あなたの声で楽譜を起こして歌って欲しい」と、モンゴル抑留者のご遺族鈴木富佐江氏（今回天皇皇后両陛下をモンゴルでお迎えされたご遺族代表の方）より依頼を受け、楽譜を起こし伴奏制作し復活させた曲です。

モンゴルの抑留者達は「頑張って日本へ帰ろう」との思いで5曲あまりの曲を作って歌っていた記録が残っていますが、「メロディがわかり復活した曲」はこの「囚われの旅人」のみ